

【卓話】鈴木康寛さん

5月3日、五頭山の山開きに頂上まで登って安全祈願祭を執り行いました。5年ぶりということで、1か月前から体力をつけなければと不安でしたが、頂上で衣装に着替えて登場する時の登山者の皆さんのどよめきが快感でした。今年は新市長や観光協会の永松さんが登って玉串を捧げ、とても賑わいました。ほぼ30年五頭山に登って安全祈願祭を行うことをライフワークとしております。県内名山ありますが、頂上で安全祈願祭を執り行う市町村はめったにないので誇りを持って登っております。私も日々阿賀野市の役にたちたいというスタンスで宮司として務めております。

今年2月に新潟県曹洞宗青年会の会合が長生館で開かれました。70人位の会員の前で講演をしました。なんでお坊さんの前で宮司が講演をするのか疑問でしたが、且飯野神社の歴史を聞きたいのではなく、なぜこんなに人が多く訪れるようになったのかを聞きたかったみたいです。

自分なりに分析してみました。まず、2016年に且飯野神社のオリジナルポスターを作製しました。現在第3弾。このポスターを作るきっかけとして当時の市商工観光課に向けて「一枚のオリジナルポスターがもたらす観光発展への可能性を探る」プロジェクトを一人で立ち上げた時の構想をお話しします。

○パワーストーン

役30年前に境内に置かれた巨石「御神霊石」に触れた人たちの間でご利益が伝わり、触れるという行為が参拝者の増につながった。

○参拝者の構成

近年の参拝者は20代・30代の女性が多く3割近い。また40代・50代の女性も多くグループで訪れる。それらの層に引っ張られて家族や会社の同僚などに輪が広がった。最近では赤ちゃんを抱いた若夫婦が「お礼参り」に訪れる。子どもから高齢者まで幅広い世代に支持されている。

○年間事業

最近是不定期で一粒万倍日詣りという何か事業を始める時や宝くじが当たるとかの祈願する参拝客が増えています。現在二年参り・正月三が日で3万人、毎月一日詣りに2千～3千人、年間で約12万人の参拝者がいらっしゃいます。

○今後の事業展開

① 15日参りの推進

毎月15日限定で各月毎の「花」のお守りくじを頒布している。口コミでその輪が広がっている。現在はお菓子を配布している。リピーターが増えています。

② 癒しの音楽会

「クリスタルボール」演奏家による音楽会を企画する（一度開催）

③ 心と身体健康会

季節毎に、気功・太極拳のサークルやボーイスカウトなどの団体と連携して、神社を会場として催し物を開催する（場所の提供）

④ 夕映えの丘

神社の大駐車場の小高い丘に越後平野を一望できる素敵な場所があり、そこを利用して「夕映えの丘」を設置する（構想中）

⑤ 森の小路

神社に上がる石段と車も登れる山参道に加えて石段脇の森林に遊歩道を設ける。現在、木材のチップを敷き詰めた遊歩道が出来、巡回コースとなっている。

⑥ 駐車場の拡張

大型バスにも対応可能な大駐車場を造成した。

○旦飯野神社の観光的要素

新潟市内の観光タクシーを利用したら、昼食をスワンレイクビール、旦飯野神社～庵地焼のコースを紹介された例もある。またインターネット検索で新潟県内のおすすめ観光地に月岡温泉～旦飯野神社が上位にランキングされている。胎内市の「ハミングツアー」が秋～冬シーズンに阿賀野市内の周遊バスツアーを企画して、そのコースに旦飯野神社も入っている。

旦飯野神社での参拝を中心とした阿賀野市内の観光コースの提示。

子授けコース…参拝～村杉温泉～出湯温泉

縁結びコース…参拝～村杉温泉夫婦杉

魔除けコース…参拝～安田の鬼瓦

などなど、実現したらいいなあと思っています。常に市の発展のためになればと考えています。